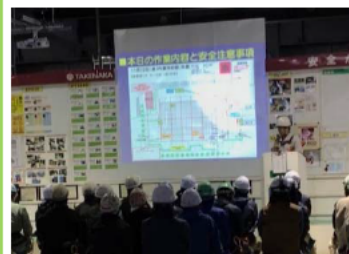


【Ⅷ. その他の危険有害性情報の「見える化」】

【見える化の推進】

1) 朝礼場や休憩所にて見える化



【プロジェクター朝礼】

朝礼時、見やすくするために、プロジェクターを使用して、作業説明・災害事例説明しています。



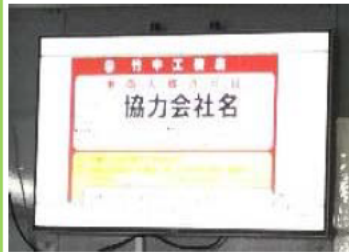
【災害事例】

休憩所に最近の災害事例を掲示し安全意識の向上を図っています。



【危険予知(KY)ミーティング】

毎朝朝礼時に各協力会社で作業内容の確認と作業に伴う危険について打合せ、危険予知活動を行う。



【情報発信ディスプレイ】

作業所ルールや連絡事項等を発信しています。



【看板置場】

朝礼場に看板置場を設置して、タイムリーな表示を行いやくしている。



【保護具と揚重ルール】

「回転工具に応じた保護具」「荷姿に合致した揚重方法」を朝礼場に設置し、KY時に利用可能にしています。

2) 看板やアイテムにて見える化

【3・3・3運動】



チャイコールで
3・3・3

強調表示

電子ボードで人払い



【風速管理】1

風速計による風速をタイムリーに確認しています。



【風速管理】2

ハンディー風速計にて現位置の風速を確認することとしています。



【荷下し時の墜落防止】

トラックからの荷下ろし時に、荷台への昇降と親綱の設置をルールとしています。



【床突起物養生】

床からの突起物に造花を取付け、目印にしています。